

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 福島県福島市
本事業の担当部局名 こども未来部こども政策課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援							
個別事業名	福島市若者ライフデザイン支援事業					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	新規	
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和7年度	
総事業費(A)(円)	300,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	300,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	300,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	256,000	19,000	25,000	0	
	対象経費支出予定額	0	0	256,000	19,000	25,000	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	0	0	0	0	0	300,000	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	300,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 過年度に引き続き、婚姻件数や婚姻率の増加を目的としてライフサポーターおよびマリッジサポーターによる婚活相談者への個別の対応や出会いの場の創出を行っていく。 さらに令和7年度は、高校生・大学生等を対象としたライフデザインセミナー等を開催し、若者が将来のライフイベントを考える機会を提供し、結婚や子育てに向けた意識の醸成を図る。また、共働き世帯が増加する中、男女がともに仕事と家庭を両立できる働き方に向けた職場環境整備が必要であることから、企業や当事者に対し意識改革を促す取り組みを行う。</p> <p><本個別事業の位置付け> 令和6年度にこども計画策定のため、高校生～30歳未満の若者にアンケートやヒアリング等を実施。若者の多くが、結婚・子育てに対して経済的・心理的に不安を抱いている状況にあった。 本事業をとし、若者が将来のライフイベントを考える機会としながら、結婚や子育てをはじめ、将来全般に対する不安の解消を図り、次世代が希望をもった将来を描くことが出来るよう支援、また、将来展望を描く中で、若者の地元定着・帰帰促進を図っていく。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	若者ライフデザイン支援事業	<p>進学や就職、結婚や子育て、ワークライフバランス等幅広く、将来のライフイベントに関わる様々な知識や情報を取得できる機会と多様な価値観に触れながら将来について考える機会を提供する。また、参加者同士が交流できる機会や結婚や子育て支援も含む、こども若者施策に対して意見や考えを述べる機会を設け、若者の現状・ニーズを把握する。</p> <p>(1)ライフデザインセミナー 1回 ・対象:高校生、大学生、30歳未満の社会人 ・セミナー内でワークショップを実施。 (2)ライフデザインワークショップ 1回 ・対象:主に(1)セミナー参加者を対象に実施 ・(1)とは別にも実施予定。 (3)ライフデザイン出前講座 3回程度 ・対象:高校・大学(サークル等の団体を含む)等を対象に実施。</p>					

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚姻届を提出した件数		件	1036	942 (R5年)
出生数		人	1565	1,423 (R5年)	
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.20 (R5年)	
	婚姻件数		件	942 (R5年)	
	婚姻率			3.42 (R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	若者ライフデザイン支援事業への参加者	人	50 (R7年度)	---
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R7年度)	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80 (R7年度)	—
	④				
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					